

ればならぬのである。

然るに右翼の結合部は、斯くの如き共同戦線の成立を妨害し成立した點をアチアチが如き態度を以て終始一貫努力してきたつたのである。

而して何故等は第三回中央委員会に於てこれを遂行し得たのであるか。

左右兩翼の發生と對立及び其の各々の特質

日本に於ける無産階級運動は前述せる如く、今や、經濟的闘争から政治的闘争へ發展しつつある。斯かる無産階級運動の發展段階に於いては、無産階級階級内部に、斯くの如き運動の發展を阻止し、妨害する右翼官僚階級の發生が顯著となる。

彼等は無産階級の政治闘争を妨害し、否定することによつて、階級上の階級協調主義者となり、資本家、政府と妥協結合する。

彼等と謂へども政治運動に眞向から反對はせぬ。又黨の組織をも否定はせぬ。然しながら彼等の政治運動は單なる選舉運動であり、彼等の黨は小アンチオア的な議會黨である。労働黨第三回中央委員会の全決定を見よ！

よらねばならぬのである。

縱に彼等は労働黨よりの脱退、又は分裂が、右翼幹部自身を孤立せしめる如き結果にある場合、彼等はこれを躊躇する。

即ち總同盟一派の右翼幹部が昨年來よりの全體的統一無産者組織運動に、参加せざるを得なかつたのは、其の無産者の側面の故であつて、彼等は此の側面を捨てて、こゝに共同戦線アチアチの機會をねつてゐたのである。然るにその機會、共同戦線を大膽に破壊し、アルチオアをして前途をあげしむる機會は、つひにきた。それは次の如き事情によつて齎されたのである。

- 一、農民組合脱退派による農民同盟の組織と農民黨の成立
 - 二、農民組合内部に於ける共同戦線聯合會の最近の分裂
 - 三、全國共同戦線聯合會の「アチアチ」は労働階級を中心とする共同戦線統一運動による右翼階級運動の勃興
- 斯る右翼に都合のよい一時的現象は、彼等をして無産階級に對する態度を積極化せしめる結果となつた。
- 即ち労働黨のアチアチが、外戦には階級的裏切り行爲であることが露骨に露はれぬ(何故なる彼等も亦一時的には大衆から支持されてゐるから)ことが確となつた。

而して帝國主義的時代に於ける無産階級の階級的利益は、斯くの如き階級に於ては隠して獲得し得るものではない。と同時に、無産階級運動は一步も後退し得ない。従つてそれは資本家階級の存在を永久に認容することにならねばならぬであつて、彼等が口先で如何に無産階級解放を云ふするに雖も、それは單なるタラシ以外は何れももたない。

これに對して左翼は、運動の各發展段階に於て、常に無産階級の階級的利益を最も忠實に代表し、正しい階級の政策を掲げて闘争する。従つて、右翼幹部の階級的裏切りに對してはあくまで闘争するのである。

右翼幹部は自己の階級内から資本家、政府との妥協結合に反對する左翼分子の放棄と、共同戦線の破壊等を常套手段として用ひる。

無産階級の階級的利益を裏切る彼等は、左翼との闘争「アルチオアの忠實な代理人として左翼と大膽に闘争する」と自己の存在の必要から、漸次反動化して行く。

然しながら無産階級運動内部に於ける右翼は、公然と反無産階級の本質を大衆の前に露するが如きことは敢てせぬ。無産者階級内部に於けるアルチオアの代理人は、大衆の前で無産階級の敵面をか

階級の如き形勢は、農民組合に對する態度をとりしむる結果となつた。そしてそれは、右翼幹部の主張せる三階級排斥には止むを得ず譲歩する。然し其の代り、農民黨に對し、労働黨をして、これが階級のために積極的闘争を行はしめる、といふことを即ちこれである。

農民組合よりの脱退と日本農民同盟の組織と農民黨の組織とを以て努力する農民組合山梨縣聯合會の官僚階級の行動、無産階級の露骨な抱擁と無産階級無産者をアルチオアの祭壇に掲げるための、意識的な階級的裏切り行爲であることは云ふまでもなく明らかである。而して農民組合が、彼等の運動に對し、全力を傾中して戦ふべきことの必要を決定し努力せられた、あるは當然であつて、少くとも、無産階級の階級的利益を代表した階級が、この闘争に参加し、協力して彼等を我無産階級階級から葬り去ることは、當然の義務である。

農民組合の斯かる決意は、正しかつた。だが然し労働黨をして農民黨と戦はしむる條件の下に、三階級排斥を承認せられたことは非難な限りであつた。三階級排斥を主張した右翼幹部は、無産階級階級内部に小アンチオアの觀念を灌輸すること、無産者階級を分